

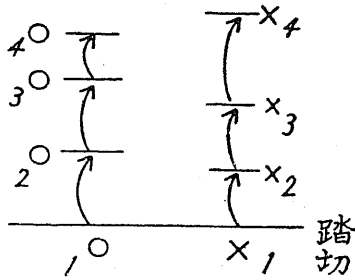
# 幅とび遊び

附屬幼稚園 福田 静子

初秋の頃。かけっこ、縄まじり、鬼ごっこ、玉投げ等いろいろな面白い遊びが展開される。大空に向つて活潑に運動しよう。

次に變つた幅まじり、二つ三つを考へてみた。  
其の一

- 1、圖の様に出發線の前に紅白二列に分れて並ぶ。
- 2、「始め」の合圖に依り、先頭の者は出發線の手前に兩



踏切

脚を揃へ、前方目がけて、大きく兩脚跳を行

ふ。

3、次の者は、前者が跳んだ線の前に兩脚を揃へ、同様にして前方へ

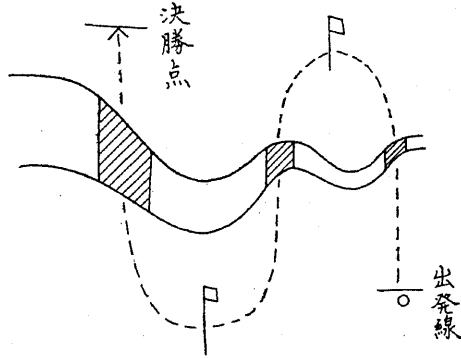
跳ぶ。

4、次の者は、この様にして、更に前者のさんだ線より兩足跳を行つ

て、各組共、先へくミ跳んでゆく。

- 5、こうして、各組共距離を増し、最後の者が跳び終つ

た時、出發線よりの距離を計つて、距離の長い組を勝ちとする。



出發線

決勝点

「注意」幅まじりの計り方は、出發線より着地の踵までを計り、兩足不揃の場合、後方の足の踵までの距離を計る。

其の二

圖の様な川を地上に描き、廣い流れや狭

い流れを跳び越す遊びである。出發線より駆け出して、最も狭いところを一跳びして向ふ岸へ渡り、先の障害物を一廻りして、次に廣い流れを跳越し、更に前方にある障害物を廻つて、最後に大河を

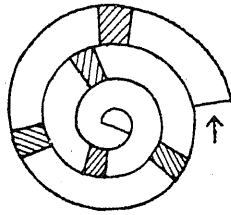
跳越して、決勝點へ向ふ。

一人づつゝみんだり、或は二人づつの競争にする。川に落ちた者は、その場からやり直す。

川幅は最短五〇糎、最長一米四〇糎位にする。

其の三

うづ巻を描き、所々に切目の模様をつける。入口より、



片脚跳びで中心へ進んでゆき、切目の前まで来た時、両脚を下して揃へ、その部分を跳越す。

そして又片脚跳で先へ進む。うづ巻の中心まで行つた者は、再び片脚跳で引き返し、

切目の部分は両脚で跳越して出口へ戻つてくる。

切目は、幅に大小をつけておく。

其の四

兩足が入る位の圓を、間隔を置いて地上に縦列に描く。

圓ミ圓ミの間隔は最短三十糎位とし、次第に離して一米



以上にする。

そしてこの圓を、圓から圓へ兩足を揃へて跳んだり、片

足で跳んだりする。兩足で跳ぶ時には最後まで兩足で、

片足で跳ぶ時には最後まで片足で跳ぶこゝにする。

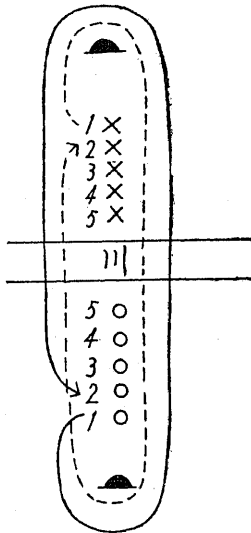
圓外に落ちた時はやり直し。

圓は間隔をもつゝあけながら、跳べるこゝろまで、増す

こゝが出来る。

其の五

幅一米位の川を描く。



紅組、白組に分れ、川を真中にして兩組向ひ合つて並ぶ。

紅組も白組も列の後に積木か砂でお山を作る。

「用意ドン」で一番後の人から、ばみんを持つて走り、川を

跳び山を廻つて一廻りしたら、次の人にはばみんを渡す。

走り方は圖の通りにする。

早く皆が走り終つた組が勝ち。

川をミびそこなつたら、ミびなほしをする。